

平成31年4月27日

平成31年(令和元年)度代議員会概要

社協北川根支部長 鈴木 裕

地域福祉センターともべ

(1) 収入の部

一般会計

平成31年(令和元年)度予算

項 目	30年度決算	31年度予算	備 考
1. 前年度繰越金	356,930	413,667	年度当初の事業資金
2. 会費還元金	791,500	800,000	
3. 助成金	129,150	130,000	
広報助成金	79,150	80,000	
福祉コミュニティ	50,000	50,000	
4. 雑収入	56,702	50,000	支部研修会参加費・預金利子
合 計	1,334,282	1,393,667	

(2) 支出の部

項 目	30年度決算	31年度予算	備 考
1. 総務委員会	731,843	770,000	
(1) 地区行事助成	425,000	445,000	
① 各区行事	200,000	220,000	地区行事助成(11地区)
② 区長会助成	30,000	30,000	北川根小学校区長会への助成
③ 児童行事	85,000	85,000	北川根小学校・北川根小学校・北川根小学校・北川根小学校
④ 高齢者助成	110,000	110,000	高齢者クラブ助成金(5カ所)、カラオケ大会補助
(2) 支部研修交流会	74,879	80,000	入館料・食事代・高速料金等
(3) 在宅福祉	225,000	235,000	配食サービス食材費、歳末見舞金
(4) 事務費	6,964	10,000	事務用消耗品
2. 広報委員会	99,144	100,000	支部だより(3回発行)印刷費
3. 支部役員会等	9,628	10,000	会議用お茶
4. 女性部活動費	80,000	80,000	茶話会・研修会開催経費等
5. 予備費	0	433,667	
合 計	920,615	1,393,667	

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	30年度繰越金
1,334,282	920,615	413,667

会員数が、前年度の1288(法人59、特別28、一般1290(法人57、特別28、一般1205)へと、法人会員が2減、特別会員は変わらず、一般会員が4増、合計2増となりました。

告・決算報告、平成31年(令和元年)度事業計画・予算等の協議を行い、全議案が提案通り承認されました。その後、平成31年(令和元年)度(令和2年度)役員員の確認を行い11時に閉会しました。

【議案第1号】平成30年度事業報告

青色パトロール車での支部内巡回(月1回)、毎月1日・15日の立哨協力、北川根ウォーク、配食サービス(月1回)、合同茶話会、支部研修、女性部研修、北小・二小との連携強化事業・各地区福祉事業・児童行事等への助成、高齢者等への助成・慰問等を行いました。

【議案第2号】

平成30年度決算報告

(1) 収入額

1,334,282円

前年度比0.3%増

前年度とほぼ同じ収入額で、前年度より0.3%増となりました。

(2) 支出額

920,615円

前年度比5.4%減

地区行事助成、支部研修交流会など、全体で、前年度より5.4%減となりました。

【議案第3号】

平成31年(令和元年)度事業計画

前年度と同様の事業の実施を予定しています。また、北川根ウォークは隔年実施とし、今年度は行いません。

【議案第4号】

平成31年(令和元年)度予算

前年度の執行状況を勘案し、別表の通り策定しました。

安心の地域作りを

平成31年(令和元年)度代議員会

笠間市社協北川根支部、平成31年(令和元年)度代議員会は、4月27日(土)午前10時から11時まで、笠間市地域福祉センターともべで開催

されました。

■全議案を提案通り承認

水田副支部長の司会で始まり、上野副支部長が開会のことば、鈴木支

部長が支部長あいさつを行いました。笠間市社協の藤枝事務局長、北川根小学校の磯野宏人校長、友部第二中学校の大関修校長からの来賓あいさつがありました(市社協からは、矢口さんと米川さんも出席されました)。

その後、民生委員児童委員の赤津博さんを議長に選出、平成30年度事業報告

北小
三世交代交流まつり

―子供会主催、支部社協共催―

昨年 11 月 25 日、北川根小学校で三世交代交流まつりが開かれました。



面白い紙とコーキ



収穫したお米でもちつき

今回からは子供会主催で支部社協が共催という形になり、竹トンボ、紙ヒコーキ、焼芋、バザー、収穫したお米のもちつき等、盛り沢山の催しでした。支部長の見事な杵さばきでももち



体育館で行われたバザー

がつき上り、おいしくいただく事が出来ました。

地域の皆さんにお知らせを徹底して、もう少し参加して頂けたら良かったかなと思いました。

従来の収穫祭の目的は、田植えを体験し、収穫のよろこびを皆で味わいつつ、日本を支える農業の大切さを知る事にあったと思います。しかし、学校の教育事情も大分変化しているとの事です。

来年からの三世交代交流まつりの中にお米を大切に作る心のコーキがなんとか残せないものかと思ひながら散会しました。

(上野)



人、教職員数 25 人でスタートしました。

入学式に登校してきた新入生と保護者の希望に満ちた笑顔。これから始まる北川根小学校での生活への期待の大きさを、教職員として、責任の重さを実感しました。

今年度、北川根小学校は、新入生 43 人を迎え、児童数 277

笠間市立北川根小学校長
磯野 宏人

学校教育目標は「夢や憧れをもち、明るく、伸びやかで、活力のある児童の育成」です。日本一の笑顔あふれる北川根小学校を目指し、今年度も教職員一同努力して参ります。

昨年の「北小文化祭」では、北川根支部の方に地域の民話の発表を行っていただき、大変好評でした。今年度も引続き、登下校時の見守り活動や朝のあいさつ運動はじめ、各種教育活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

明るく 元気な 笑顔あふれる 北川根小学校
共に語らん 共に学ばん 共に進まん 友部第二中学校



育のキーワードを「チーム和」

笠間市立友部第二中学校長
大関 修

日ごろから、本校の教育活動に対して深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本年度、友部第二中学校は 129 名の新入生を迎え、生徒数 339 名でスタートしました。

学校教員のキーワードを「チーム和」とし、生徒・保護者・学校が一丸となり、また、地域の方々のご支援をいただきながら教育活動を進めてまいります。

この激動の時代の中にあって、近い将来、社会の担い手となり、たくましく生き抜く人材の育成・能力の開発が急務であります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

わが地域 ⑬

柏井園地



環境センターへ向かう途中に「柏井団地公民館」

76年「柏井団地」は、昭和51年（1976年）4月に11世帯で柏井地域の北側（旧内原町）と隣接する地域で自治会を設立して誕生した。

今年で44年目を迎え、「昭和」

「平成」―令和―の三代を刻むこ

とになる。誕生時には「柏井団地公

民館」がなく、自治会の場合は区長

宅で行ったと聞いている。15年

後の1991年12月に現在ある場所へ

た。「柏井団地公民館」が新築されまし

「柏井団地公民館」は、環境セン

ター（ゆかいな）にふれあい。セン

向かう途中にある。長尾路、仁田入会

が柏井ではなくなっています。数年後、北関東道路

となっていました。

が柏井地域を横断する形で開通する「柏井団地」は、「柏井区」と混在している地域になり、隣近所が「柏井区」一宅が多い会員の方もおり、極集中型でなく北関東道路を跨いで南北広い地域に点在している状態だ。広報誌等の回覧も大変です（二班でグループで回覧中）。現在は24世帯で、高齢者の半分くらいまで減少し、高齡化が徐々に進んでいます。当時は親睦を深めるために年1回、近場に日帰り旅行をしていました。最近では会員の親睦を深める機会も少なく、唯一「花見会（高齢者を囲む会）」が実施されています。柏井団地公民館には3本の桜の木があり、毎年が楽しみになっています（見ごろに合わせるのは難しいですが）。今年は、花吹雪を見ながら楽しく過ごすことができました。

「花見会」では、会員の方のギター演奏や歌本を見ながら参加者全員で歌い合いをしています。以前はカラオケ等も実施してありました。過去には社会福祉協議会の紹介でボランティア団体の「ハーモニ―せせらぎ」をお招きもしています。

このように会員全員が参加する行事も少なくなっています。他では、「通学路草刈」「新年顔合わせ会（新年会）」「総会」「クリーン作戦」等の活動を行っています。元最後の一平成から令和に世代交代され新しい時代を迎えている。柏井団地にも新たな時代の第一歩を刻み、更なる発展をすることを期待したい。

北川根支部研修・交流会報告

逆井城をめぐる

1月23日(水)、表記の北川根支部
研修交流会が実施されました。参加者
は37名でした。



復元された逆井城にて（1月23日）

見学した順に、逆井城は戦国時代の天文5年（1536）、下野の小山氏の分流逆井氏によって築城され、その後北条氏に攻められ落城しました。しかし、北条氏も豊臣秀吉によって滅ぼされ、その後は廃城となり、近年になって公園として整備されました。往年の堀、土塁が残っており、またいくつかの矢倉も再建されて、今は見ごたえのある堂々たる史跡になっています。

承平5年（935）、平氏一族の抗争は律令制を揺るがす大規模な争いに発展し、遂に将門は新皇を名乗り、関

編集後記

編集後記
 平成7年阪神・淡路大震災、地下鉄サリン、11年JCO臨海事故、13年米同時多発テロ、23年東日本大震災、その後も災害が続いた平成時代。令和はどうなる？ いよいよ始まった（藤森）

東一円を支払います。しかしその支配は一年にも満たず、天慶3年(940)、『昭和51年』のNHKの大河ドラマ「風雲」と虹と一が放映され、英雄将門の生涯が全国的に知れ渡り、その機に、旧岩井町を中心に多くの史跡が整備されたようです。

●**国神社**には将門が祭られており、**石井の井戸跡**は将門の営所(陣屋)があつたあたりとされていますが、今は記念碑のみが残されています。

●**延命寺**には将門の守護仏があり、古来島の薬師と呼ばれている境内は、往時の雰囲気を残しています。ここで昼食となり、海鮮茶屋にて美味しい釜飯をいただきました。

●午後は**神田山延命院**からで、ここには将門の冢があります。天慶3年2月14日、敵の矢を受けて落馬した将門は首をはねられ、首だけが都に送られました。胴体はこの冢に埋められたと伝えられています。

●また、**茨城県立自然博物館**も見学しました。生物、動物、地質と展示内容は充実しており、特に動く恐竜はリアルティ満点でした。

●最後に、**県西**で特に著名な一言主**神社**をお参りし、帰路には予定外の岩間の土からのたよりに立ち寄って、買ひ物をして無事帰着しました。

(鶴田)